

平成 24 年度卒業研究発表会要旨集の巻頭にあたって

山崎 将俊（筑波大学 生物学類 4 年）

卒業研究発表会とは、生物学類 4 年生が 1 年間の研究の集大成としてその成果を発表する場です。主に生物学類の先生方、同じ 4 年生の仲間、そして生物学類の後輩たちを前に自分たちの研究成果を発表します。

1 年前、私はこの卒業研究発表会の運営委員として当時の 4 年生の先輩方の研究発表を間近で聞くことができました。研究発表会前日のリハーサルの日から先輩方の緊張感が伝わり、研究発表に対する熱意が感じられたことが印象的でした。実際に発表を見た際にも、どの発表もとても工夫が凝らしてあり、12 分間という短い時間に先輩方の 1 年間が集約されているように感じました。

いざ自分が 4 年生になり卒業研究を行う立場になってみると、毎日が苦労の連続でした。卒業研究は 2 年生 3 年生のときに履修した学生実習とは違い、4 年生自らが興味を持った研究テーマに取り組みます。指導教員や先輩方と一緒に仮説を立て、その検証のため適切な実験をデザインしました。初めは手取り足取り実験方法を教えてもらいましたが、途中からは自分らも考え実践していきました。マニュアルはあっても、自分たちの条件に合った工夫が必要でした。仮説が正しいとわかったときの感動はいうま

でもありません。一方、度重なる失敗で落ち込んだり期待通りのデータが出なかったこともあり、1 年という短い時間の中で数多くの貴重な経験をすることができました。この卒業研究は、私たち 4 年生にとって筑波大学生物学類で過ごした 4 年間の学習活動の集大成でもあります。卒業後に大学院で研究を継続する人は、この卒業研究を糧に新たな研究を始めます。就職活動を乗り切り社会人として新たな一歩を踏み出す人にとってもこの 4 年間は卒業後の人生の助けになると思います。

最後になりましたが、私たち卒研生が 1 年間卒業研究に邁進できたのも各指導教員の先生方のおかげです。この場を借りて深く感謝いたします。さらに私たちが気持ちよくこの卒業研究発表会を行えるのは、準備・運営を行って下さった世話役の廣田先生をはじめ 2、3 年生の運営委員のみなさまのおかげです。本当にありがとうございました。

この発表会には生物学類の 1、2 年生も毎年多く参加してくれます。1 年後、2 年後自分たちがどの研究室へ入りどのような研究を行うか考える良い機会になると思いますので、興味を持って聞いていただけたら幸いです。

Communicated by Mitsuru Hirota, Received February 14, 2012.